

# 平成28年版

# 大和町統計書

## 七ツ森ができた理由

昔、加美の都に朝比奈三郎という力持ちの大男が住んでいました。

あるとき、弓の稽古をするため、的にする山を作ることにしました。

そこで大きなタンガラ（土を運ぶための背負いかご）をつくり、黒川のほうまでやってきたそう。そして、大谷の東の原っぱ（現在の大崎市鹿島台あたり）からタンガラいっぱい土をいれ、七回ほど土を運んで的山をつくりました。

途中、一回づつ休んだときにタンガラから土がこぼれ、その土が固まって七つの山ができました。それが今の「七ツ森」で、この時土を掘ったところが「品井沼」、三郎が歩いた足跡が「吉田川」になったんだと。

また、その時の的山が矢喰山（薬菜山）で、一番あとにタンガラの残りでできた山がたんがら森といわれるようになったんだとさ。（※大和町HPより）



宮城県大和町

## 大和町民憲章

一、船形山を仰ぎ  
理想と文化を  
高めます

一、七つ森を愛し  
和の心と豊かな  
人間性を培います

一、吉田川の流れに  
清き心とすこやかな  
体をつくります

**平成28年版 大和町統計書**

平成30年3月発行

**編集：大和町総務課**

〒981-3680

宮城県黒川郡大和町吉岡まほろば一丁目1番地の1

TEL 022-345-1112